

平成20年度を迎えるにあたり

幹事長:小林 市之

皆様には日頃よりたいへんお世話になっております。新年度を迎えるにあたり、公明党市議団としての決意を述べさせていただきます。

今、調布市は5つの重点的取組みを基本とした市民サービス向上を目指し進んでおります。その実現に向け公明党調布市議団も一丸となり取組んで参ります。

具体的な取組みとしまして、私たちは年頭に10項目にわたる重点政策を掲げました。

- ①「いじめ・虐待のないまち宣言」の意義を周知し「人権教育」「心の教育」の推進
- ②放課後のユーフォー事業の全小学校開設に向け推進
- ③子育て支援の充実のため、保育所の待機児童解消及び妊産婦の無料健診5回の実現と更なる拡充
- ④後期高齢者医療制度が円滑にスタートできるよう制度の周知、及び低所得者対策、特定健診・指導等更なるサービスの向上
- ⑤ミニバス路線の充実と、障害者・高齢者にやさしいバリアフリーのまちづくり
- ⑥葬儀が行なえる多機能を備えた新たな「ふれあいの家」の設置を推進
- ⑦防災対策として、地域防災力の強化及び防災設備の充実を推進
- ⑧周辺環境への負担の少ない「新ごみ処理施設」の建設を推進

⑨スポーツ施設(武道場・野球場・室内プール)の建設を推進

⑩地球温暖化対策として、チームマイナス6% = チャレンジ宣言の普及

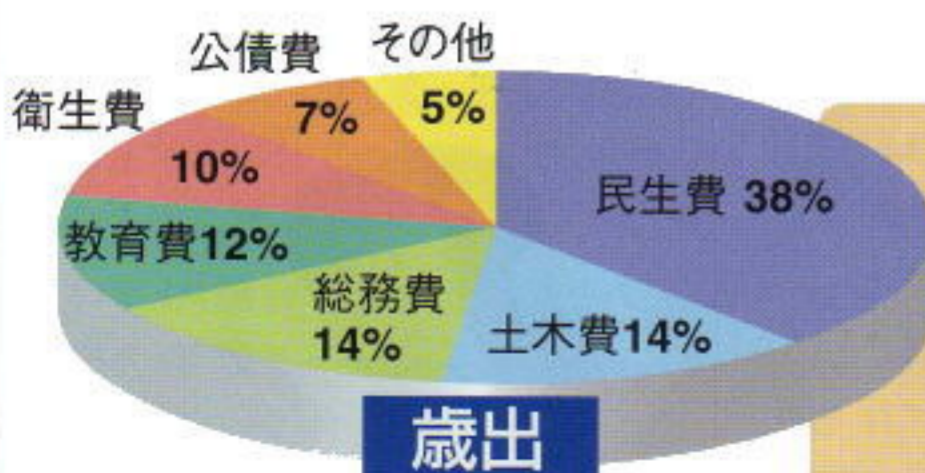
以上、「生活現場主義」をモットーに全力で頑張っております。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



公明党が推進してきた新教育会館の前にて

◆平成20年度予算決まる◆

平成20年第1回定例会は、3月3日から24日までの会期22日間にわたって開かれました。今回の定例会では平成20年度予算など、市長提出議案51件、議員提出議案15件、陳情11件を慎重に審議。平成20年度一般会計予算(741億4000万円)は起立多数で「可決」致しました。



調布市5つの重点的取組みと主な予算

①安全・安心のまちづくり

- 小中学校の耐震化を推進 (13億7000万円)
- 生活道路の整備 (5億9300万円)
- 安全・安心パトロールの実施 (4500万円) 他

②子ども・教育施設の充実

- 認証保育所の活用・誘致 (2億1300万円)
- 学童クラブ・ユーフォーの更なる充実 (5億3600万円)
- 子ども発達支援の充実 (4200万円) 他

③福祉・健康施策の充実

- 地域包括支援センターの充実 (2億1500万円)
- 介護予防事業の充実 (6400万円)
- 後期高齢者医療制度の開始 (14億3600万円) 他

④中心市街地まちづくり

- 京王線連続立体交差事業の促進 (8億5700万円)
- 都市計画道路の整備 (26億4600万円)
- 中小企業事業資金の融資あっせん (7300万円) 他

⑤自然環境の保全と資源循環型社会の形成

- 深大寺地区のまちづくりの推進 (1400万円)
- ごみ・資源物の収集・積替・搬送 (16億4600万円) 他